

新基地建設反対名護共同センターニュース

「違法な工事・赤土投入は許さない！」 ゲート前、安和・塩川港での抗議続く



政府の辺野古新基地建設強行への県民の抗議行動は、年が代わっても名護市内のキャンプ・シユワブゲート前や安和港、本部町の塩川港で不屈に続けられています。ゲート前では15日、平和市民連絡会の高里鈴代さんが司会し、30人余の県民が座り込みました。午前9時、ミキサー車など作業車数十台が到着、機動隊が配置に。高里さんは「私たち県民は国政選挙や県民投票で何度も新基地建設反対の民意を示してきた。その民意を足蹴にする政府に抗議するために、憲法で保障する表現の自由に基づいて座り込んでいます。私たちの座り込みは県民の総意です」と話し機動隊に向かって強制排除することをやめるように訴えました。そして東京から駆けつけた山内金久さんのトランペットの伴奏で「ウィーシャルオーバークラム」を全員で合唱（写真）。その後、座り込みは排除されたものの元気に抗議行動を続けました。

「私たちの座り込みは県民の総意だ」

安和港と塩川港で赤土搬送に抗議

名護市安和の琉球セメント棧橋前と本部町の塩川港でも、違法な赤土を辺野古埋め立て用に海路で搬出する作業への抗議行動が連日展開されています。



←琉球セメント棧橋入口で違法な赤土を積んだダンプに抗議する人々。抗議行動で、信号機が代わる都度一台のダンプしか港内に入れませんでした。（14日）

→塩川港で台船が待ち構える岸壁に赤土を積み込もうとするダンプカーに抗議する県民。抗議で積み込みに遅れが生じていました。（14日）



本部の山がどんどん崩される

本部町の琉球セメントの鉱山から岩石や赤土が連日掘り崩され、海路で辺野古の海に運ばれています。写真の山は、一年前は全体が富士山のようにとがっていましたが、今では見る影もないほどに形が変わってしまっています。（写真は14日）



高台からショベルカーで石材や赤土を掘り出していました。

「美ら海辺野古」No.20 好評発売中

「市民と野党の共闘」で野党連立政権を
DVD「美ら海辺野古」シリーズのNo.20を好評発売中です。民意を無視しての辺野古新基地の強行、宮古、八重山への自衛隊基地建設。新基地は絶対に許さない！「市民と野党の共闘」で安倍政権を打倒し、野党連立政権を樹立すれば、新基地も中止させることができる。県民の決意が詰まったDVDです。映像22分（上映権付）、頒価1000円（送料込）学習会などでご活用ください。お申し込みは、**新基地建設反対名護共同センターへ**

〒905-0011 名護市宮里 447-20 丸平第2アパート 102

☎0980-54-8555 FAX0980-54-8556

Eメール nago.kyodoc@bird.ocn.ne.jp

棧橋付近で連日の海上行動

カヌーチームが14～15日、琉球セメントの棧橋の海上から抗議行動を展開。14日は12艇、15日11艇を繰り出し、赤土を運搬する船に向かって抗議の声を上げました。ヘリ基地反対協の仲本興真事務局長は15日、ゴムボート「ハクイ号」からシュプレヒコールを呼びかけました。（写真は15日）

